

あいめーる

SPRING

愛隣館通信

平成 24 年 4 月 1 日発行 〒861-0551
 発行 熊本市山鹿市津留 2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com
 編集 広報チーム E-mail
 キャリアピジョン ailins@ku.magma.ne.jp



(写真上・ご利用者家族 39 家族参加/愛隣館デイケアルーム於)

目次

| | |
|-----------------|-----|
| バレンタイン家族報告会 | 1 |
| 東日本大震災より一年 | 2 |
| 成年後見制度をご存知ですか? | 2 |
| 避難訓練 | 2 |
| 食生活会議 | 3 |
| アクティビティ紹介① | 3 |
| 愛隣館大掃除 | 3 |
| あいめーる広場(愛隣館行事等) | 4・5 |
| 鶴城中学校ボランティア | 6 |
| 愛隣館新年会 | 6 |
| 外部講師を迎えて① | 6 |
| ぴあハウス新年会 | 6 |
| クローズアップ愛隣館① | 7 |
| 声① | 7 |
| 新しい仲間 | 7 |
| 在宅利用者のいま | 8 |
| 熊本県障がい者芸術展 | 8 |

二月十一日(土)午前十一時よりデイケアルームに於いて、恒例のバレンタイン家族報告会が開催され、三十九家族のご参加がありました。

三浦一水理事長の挨拶の後、三浦貴子施設長より障害者制度改革の情勢説明に続き、年間行事の報告。生活サービス部(ケア課・看護課・リハビリテーション/アクティビティ課)、地域福祉部(地域活動支援センター)ぴあぴあ・就労移行支援事業所ぴあワーク・多機能型ケアホームぴあハウス・ホームヘルプ・短期入所・日中一時・愛隣倶楽部・デイケア・相談支援)の各事業所、事務局から報告がありました。

家族報告会後は、利用者ご家族、職員が一緒のテーブルを囲んでの賑やかな雰囲気の中、昼食会が開かれました。

午後からは、ご家族ごとに、担当者による個別面談が別室で行われ、個別支援計画中間評価の説明、及び、本人や家族の要望等について話し合いが行われました。

バレンタイン家族報告会

元が何処なのか確認し、「〇〇〇から出火しました」と全館放送で伝えられると、入居者を避難場所まで安全かつ敏速に避難誘導を行いました。

避難場所の食堂に皆さんが集まり、消防署のスタッフから総評を頂きました。「誘導の際は大きな声で誘導して下さい。訓練では声が出て、火災時は緊張と混乱の為、もっと声が、出にくくなる」との指導がありました。

その後、玄関先で、職員による消火訓練が行われ、真剣に取り組んでいました。

また、今年度中に、夜の避難訓練が予定されています。

食生活会議



毎月一回、最終金曜日の午後二時半～三時半、食生活部主催により利用者を対象とした食生活会議が、本館食堂で定期的に開かれています。

司会は、栄養士の永田美香さん。参加は利用者であれば自由です。毎回十人程の会議参加者が集まり、お茶やお菓子を囲んでの話

し合いです。

主なテーマは、行事食(グルメの日・クリスマス等)の献立や、毎日の献立に対する感想や意見など、食生活全般にわたり、利用者のニーズを反映するために行われています。

今回は、誕生会、グルメの日、バレンタイン家族報告会のメニューについての意見、利用者からは温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べたいなどの意見がでていました。

アクティビティ紹介①

「みかん狩り」

愛隣館アクティビティを、ご紹介していきたいと思えます。

社会福祉法人愛隣園の後方にそびえる彦岳の山すそに広がる「愛隣農園」のみかんが、たくさんの実をつけました。



十二月一日(木)十六日(金)の両日に、利用者十名が、「みかんハイク」(アクティビティ)に出掛け、オレンジ色に熟したみかん狩りを楽しみました。

「今年のみかんは、例年に比べ、更に甘くておいしい」と皆大喜びでした。

愛隣館大掃除

十二月二十八日(水)愛隣館にて大掃除が行われました。

師走も押し迫った中、この日は、食堂の大掃除でした。窓を全開して、食堂にある荷物を皆でいっきに外に運び出して行きました。

慣れた手付きで運び出すと、隅々まで綺麗に掃除機をかけ、専用洗剤を使い、ポリッシャーで頑固な汚れを洗い流して行きました。

次に、洗剤と水を専用掃除機で吸い取り、その後モップでふき取り、続いて乾いたモップで水気を完全に取りのぞきます。

綺麗になった床に、ワックスを隙間なく丁寧にき渡らせ、乾くのを待ちます。その間に、要領良く職員は、次の場所に移動していました。

無駄なく磨き上げられた床は、息を吹き返したように、太陽の光を浴びて光り輝いていました。



地域福祉部合同忘年会

昨年の十二月十五日（木）、愛隣倶楽部にて、地域福祉部合同忘年会が開催されました。

当日は、地域福祉部の利用者・職員、合わせて百四名の方が参加されました。

三浦貴子施設長の挨拶に続き、デイケア利用者の前田稔さんの乾杯の後、豪華なお弁当に舌鼓を打ちながら、仲間同士の会話に花を咲かせ、その後の合同忘年会恒例のカラオケ大会では、皆さん自慢の喉を披露されていました。

そして、三浦施設長を始め職員による『ユー・レイズ・ミー・アップ』のコーラスには、皆さん聴き入っておられました。

また、最後のプレゼント抽選会では、数人の方々には深浦副施設長発案の残念賞まで出て、盛り上がった忘年会でした。



クリスマスの集い

十二月二十四日（土）愛隣館にて、クリスマスの集いが開催されました。

綺麗な飾り付けをされた館内は、クリスマス一色になり、ディナーの時間には、入居者を始め、利用者や家族の方々もお洒落な装いでテーブルを囲んでいました。そこには、オードブルから刺身やお寿司、シャンパンやクリスマスケーキ等、豪華メニューが並び、皆さんの嬉しそうな笑顔が印象的でした。

入居者のキャンドルサーブिसから、クリスマス会の集いが始まりました。

今年は、特別ゲストとして、「ゆうかり学園」理事長・日野博愛（ひのひろちか）様「全国社会福祉協議会会長」と職員の中村正和様、清水大輔様の三名が参加されました。



中村様、清水様は、来賓にもかかわらず、アタッシュケースを使ったパントマイムや、人が中に入れる風船を使った大道芸の出し物まで用意されており、軽快なリズムに合わせた吉本興業を思わせる芸で観客皆を大爆笑させてもらいました。ありがとうございました。



あいめーる広場

初詣

新しい年を迎え、愛隣館では元日と二日の二日間、参拝者を募り班に分れて年初めの行事である、彦岳神社まで初詣に行きました。

この日は、午後より入居者九名、職員九名での初詣になりました。

神社に着くと、早速、お参りをし、今年一年間の無病息災を祈願されていました。その後、お参りを済ませた方から、おみくじを引かれたり、お守りを購入されたり、短い時間ではありましたが、この日の彦岳神社は賑わいをみせていました。



餅つき

昨年末の十二月二十七日（火）、愛隣館の年中行事の一つである餅つきが行われました。

当日は、まず屋外では、訓練室の前庭に準備された昔ながらの臼と杵で、力には自慢の職員が交代でつき、屋内では機械による餅つきが見られました。つきあがったお餅は、厨房の職員を含めた女性職員が、三十五キロの餅を次々に丸めていました。

そして、この日の昼食は、例年通りのお餅アラカルト。あんこ餅にきなこ餅、おろしだいこん餅に納豆餅etc... 皆さん、思い思いの食べ方で、楽しいひとときを過ごされました。



節分

二月三日（金）の節分は、愛隣館でも、職員や利用者、実習生が赤鬼、青鬼に扮して、午後二時から食堂で恒例の豆まきが賑やかに行われました。



まず、女性職員の方がマスに見立てた容器に大豆を入れ、会場に集まった方々に配られ、「鬼は外、福は内」の掛け声と共に、一年間の健康と幸福を祈りながら、豆をまき、豆の代わりに殻付きのピーナッツを美味しくそくに食べておられました。

鶴城中学校ボランティア

十二月十九日(月)山鹿市立鶴城中学校の皆さん(全校生徒百十一人・佐藤智校長・教職員)が、ボランティア活動の一環として、今年も訪問してくれました。(同校人権委員会主催)



このうち、一年生が愛隣館を担当し、施設内各所の窓ふき・大掃除のほか、車いすを押しての介護体験、自己紹介などで話し相手をするなか、年賀状を出す約束をしていたなど、入居者との交流を深めていただきました。なお、一年生は愛隣荘、三年生は愛隣の家の担当でした。皆さんありがとうございました。

愛隣館新年会

新たに年も明けた一月十四日(土)に愛隣館で恒例の新年会が開催されました。

新年会では、昼食に、しっかりと食べたい方のすき焼きコース。ポン酢や大根おろしで、あっさりとお食べたい方の水炊きコースがあり、各々好きなコースを選んで、準備しているテーブルにコンロを用意し

て、出来立ての鍋を皆さんで囲み、美味しく頂きました。



鍋には色とりどりの食材が並び、年末についたお餅も用意され、テーブル担当の職員が取り皿に取り分け、各テーブルからは、入居者の方たちの楽しそうな笑い声が絶えず、新年を迎え幸先のいい豪華な新年会になりました。

外部講師を迎えて①

このコーナーでは、愛隣館外部講師の先生方をご紹介していきます。

今回、ご紹介するのは、毎週水曜日の午後、音楽クラブ・今津承喜(いまづしよんき)先生にお話をお伺いしました。当初、利用者の方々の名前と顔が



中々一致せず、音楽では、クラシックを専攻していたせいも、要望された曲がクラシック調になり、利用者の方達のリクエストに出来る事が難しかったそうです。「今では、希望の曲も出来る様になりました」と、当時の苦労話をして下さいました。今津先生は、「歌っている時の皆さんの楽しそうな笑顔を見られるのが一番の楽しみです。その笑顔で逆に元気を貰っています。これからも、皆さんと家族のように接して行きたい」と嬉しそうにお話をされていました。

ぴあハウス新年会



ケアコニディネーター

大丸 祐子

一月十六日(月)ぴあハウスのラウンジにて新年会が行われました。

今年は約半数の入居者が実家でお正月を迎えられ、全員での顔合わせは久々という事もあり、始まる前は皆さんソワソワした様子でした。

「乾杯！」と自治会



長の掛け声の後、会がスタートしました。

「ご家族一名が加わって、合計十七名で楽しく歓談中に、ほろ酔い気分の入居者から「カラオケしようか!」というリクエストがありました。急遽カラオケをする事になり...予定よりも一時間程会を延長しました。最後になりましたが、今年も笑顔いっぱい的一年になりますように。」

クローズアップ愛隣館①



ケア課
藤井 優子

「成人式を迎えて」

平成二十二年より愛隣館で勤務させていただいている藤井優子と申します。

平成三年七月二十五日生まれの平成育ちです。愛隣館に勤めるようになって、最初は不安でいっぱいでしたが、入居者の方の笑顔や、職員の方々に優しく教えていただきながら二年の月日が過ぎ、今年、無事成人式を迎えることができました。

これからは、社会人としてのマナーを守り、沢山の事を学び、入居者の方々が日々充実して頂けるように頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

声①



愛隣倶楽部利用者
吉本 やす代

皆さんこんにちは。お元気ですか。

私は、愛隣館にお世話になって、一年になります。が、これまでいろいろなことがありました。でも、皆さんに支えられてここまで来ることができました。ありがとうございます。

ぴあハウスにもやっと慣れ、楽しく過ごさせてもらっています。

また、ここまで頑張った自分を誉めてあげたい。自分を信じて、これからも一歩ずつ生きていこうと思っています。

自分の人生だから、一日一日を大切に生きて、やさしさと笑顔と感謝の気持ちを忘れず、今年は私なりに、自分を変えてみたいと思います。

私にとって、一番の宝物は「家族」です。生きる力を与えてくれます。心から「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思います。

新しい仲間



愛隣倶楽部利用者
菅原 弘志

私は荒尾養護学校を卒業してから、在宅で生活後、玉名の施設を利用していました。

山鹿に引っ越してからは、愛隣倶楽部に来ています。いろんなことに興味があって参加してみたいです。これから宜しくお願ひします！

イルミネーション

恒例の、イルミネーションが、愛隣館や愛隣倶楽部の屋根や各施設の屋内外に飾り付けられ、クリスマスムードを大いに盛り上げました。

飾り付け担当者の一人、愛隣倶楽部の隈部さんの話では、「今年は、十二月一日より飾り付けの準備を進めました。屋根にやや勾配があり、作業中、気は抜けませんが、十年前から毎年やっているの、今ではもう慣れました。

以前は、黄色の電飾が主体でしたが、五年ほど前からは、ブルーを基調としています。



当施設のご利用者・関係者はもとより、地域の方々や各道路(国道三号線や最近通りが多くなつた、津留・平山線など)を通る方々にも楽しんでいただきたいと思います」とのことでした。

★ 在宅利用者のいま ★

みなさん、こんにちはは平成十一年より愛隣倶楽部を利用し、平成十五年からヘルパーさんや訪問看護を受けながら在宅で暮らしている藤本知里です。

最近、裏の駐車場の様子を鏡に映して、外の風景や人の動きを見て、こっそり楽しんでます。これが結構面白いです。

もうひとつの楽しみは、第二・三火曜日に自宅に来て下さる歌の南田清美先生と、声を出して歌うことです。

毎回、先生と童謡や歌謡曲を十五曲くらい歌っています。小鹿のバンビが大好きで何回も歌うちに歌詞を覚えてしまいました。みなさん、こんど一緒に歌いましょう♪



熊本県障がい者芸術展

県民の皆さんに障がいへの理解を深めて頂くための啓発イベント「くまもとハートウィーク」の一環として、県内の障がいのある方が制作した絵画、手工芸、書などを展示する展示会が十一月二十九日(火)から十二月四日(日)まで熊本市の県立美術

館分館にて開催され、愛隣館からも陶芸・詩・写真・絵など利用者の力作(二十三点)が出品されました。

開催中、芸術展を鑑賞に来られた方々が心打つ作品や前向きに生きる姿が伝わる作品に一票を投じる、人気投票も行われ、写真部門では、愛隣倶楽部の田中铁也さんが車椅子の目線で撮った「ねこのしっぽ」が堂々の金賞を受賞。十二月十一日(日)に表彰式が行われました。

田中铁也さんは、「選ばれるとは驚きでした。チャレンジ精神を持っていきたいです」と受賞の喜びを語って下さいました。尚、田中さんの作品は、一年間熊本県庁に展示されています。



作品名 『ねこのしっぽ』

あいめーるは、愛隣館のホームページでご覧いただけます。検索名は「あいりんの風」です。

編集後記

東日本大震災から一年が経ち、まだまだ被災地では安心した生活ができないのが現状です。私達、広報部のメンバーも「みんなは一人のために、一人はみんなのために」自分達のできる支援や広報活動を行い、震災の記憶をいつまでも忘れないように努めて参りたいと思います。

また、皆様のご意見やご要望を取り入れ多くの方々のニーズに答える「あいめーる」作成を目指し頑張っておりますので、今後共よろしくお願い致します。



左より「松島・岩下・友枝・坂田・井上」